

2026年3月31日
 2026年5月7日更新
 2026年5月26日更新
 近畿大学入学センター

令和9年度（2027年度）入学試験の変更点について

令和9年度（2027年度）入学試験の変更点は下記の通りです。詳細については、「入試ガイド2027」（7月中旬発行予定）および「令和9年度入学試験要項（8月中旬公開予定）」をご確認ください。

2026年5月26日付更新内容：看護学部の試験科目の修正（赤字箇所）

<令和9年度（2027年度）入学試験の主な変更点>

① 医学部、看護学部 募集人員の変更

【令和8年度（2026年度入試）】

学部	学科	募集人員	推薦	一般			大学入学共通テスト利用						地域枠※
				前期		後期	共通テスト利用方式			共通テスト併用方式			
				A日程	B日程		前期	中期	後期	A日程	B日程	後期	
医学部	医学科	108	25	55		5	5	3	2				13
看護学部	看護学科	110	55	35	10	5	3	2					

※地域枠については、大阪府(2人)和歌山県(1人)静岡県(10人)を募集予定



【令和9年度（2027年度入試）】

学部	学科	募集人員	推薦	一般			大学入学共通テスト利用						地域枠※
				前期		後期	共通テスト利用方式			共通テスト併用方式			
				A日程	B日程		前期	中期	後期	A日程	B日程	後期	
医学部	医学科	107	30	50		5	5	3	2				12
看護学部	看護学科	100	55	28	7	5	3	2					
	看護学科(看護学部独自方式)	10	-	7	3	-	-	-					
	看護学科	110	55	35	10	5	3	2					

※地域枠については、大阪府(1人)和歌山県(1人)静岡県(10人)を募集予定

② 法学部 入試方式の追加（英語外部試験利用方式）

【対象入試制度：一般入試・前期（A日程）、一般入試・前期（B日程）】

スタンダード方式の結果と、本学が指定する各種資格試験等のスコアを換算した得点を合算し、総合点で合否判定する「英語外部試験利用方式」を新規導入します。

【英語外部試験利用方式】

教科	科目	配点	合計 400点
英語外部試験	本学が指定する各種資格試験等のスコアを換算します。 ※得点の換算には、英語外部試験利用制度の換算表を用います。	100点	
外国語	「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」	100点	
国語	「現代の国語、言語文化、論理国語、古典探究（いずれも漢文を除く）」	100点	
地歴 公民 数学	「世界史探究」「日本史探究」「地理探究」 「政治・経済」 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B（数列）・数学C（ベクトル）」	100点	

から1科目選択

③ 理工学部 エネルギー物質学科 試験科目の変更

〔対象入試制度：推薦入試（一般公募）、一般入試・前期（A日程）、一般入試・前期（B日程）、一般入試・後期〕
エネルギー物質学科の2時限目の試験科目として、「数学①」が選択可能となります。

【推薦入試（一般公募）】

教科	科目	配点
外国語	「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ」	100点
数学①	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ（極限、微分法）・数学Ⅳ（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）」 から1科目選択	100点
数学②		
理科		
		合計 200点

【一般入試・前期（A日程）、一般入試・前期（B日程）、一般入試・後期】

教科	科目	配点
外国語	「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」	100点
数学①	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ⅳ（数列）・数学Ⅴ（ベクトル）」 から1科目選択	100点
数学②		
理科		
		合計 300点※

※ 一般入試・後期は高得点判定方式のため、高得点2教科2科目合計200点満点で合否判定します。

④ 理工学部 全学科 入試方式の変更（数理重視方式）

〔対象入試制度：推薦入試（一般公募）〕

スタンダード方式の結果を利用して判定する「数理重視方式」を新規導入します。「数学または理科」の得点を2倍に換算し、「英語」との総合点で合否判定します。各学科の試験教科・科目は以下の通りです。
なお、これに伴い「高得点科目重視方式」は廃止します。

【数理重視方式】〔推薦入試（一般公募）のみ〕

●理学科（数学コース）、機械工学科、電気電子通信工学科、社会環境工学科

教科	科目	配点
外国語	「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ」	100点
数学②	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ（極限、微分法）・数学Ⅳ（数列）、数学Ⅴ（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）」	200点
		合計 300点

●理学科（物理学コース）、応用化学科

教科	科目	配点
外国語	「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ」	100点
数学②	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ（極限、微分法）・数学Ⅳ（数列）、 数学Ⅴ（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）」 から1科目選択	200点
理科		
		合計 300点

●理学科（化学コース）、生命科学科、エネルギー物質学科

教科	科目	配点	
外国語	「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ」	100点	合計 300点
数学①	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ（極限、微分法）・数学Ⅳ（ベクトル、平面図形）」	200点	
数学②			
理科	「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」		

⑤ 看護学部

3月31日に公表しておりました一般入試・前期の「試験科目の変更」は行わないことといたしました。したがって、令和9年度入試の試験科目は令和8年度入試と同様となります。

⑥ 看護学部 入試方式の変更（高得点科目重視方式）

〔対象入試制度：一般入試・前期（A日程）、一般入試・前期（B日程）〕

スタンダード方式の得点を利用して判定する「高得点科目重視方式」を新規導入します。受験した教科・科目のうち、最高得点科目の点数を2倍に換算し、他の科目との総合点で合否判定します。

なお、これに伴い「2科目判定方式・英語必須型」は廃止します。

⑦ 看護学部 入試方式の追加（看護学部独自方式）

〔対象入試制度：一般入試・前期（A日程）、一般入試・前期（B日程）〕

「英語」と「国語」の2教科2科目で判定する「看護学部独自方式」を新規導入します。

また、スタンダード方式の結果を利用して判定する併願方式としても利用できます。

【看護学部独自方式】

教科	科目	配点	
外国語	「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」	100点	合計 200点
国語	「現代の国語、言語文化、論理国語（いずれも古文・漢文を除く）」	100点	

⑧ 薬学部他学部併願方式に工学部を新規追加

〔対象入試制度：推薦入試（一般公募）〕

薬学部他学部併願方式（創薬科学科）の併願可能学部[※]に工学部（全学科）を追加します。

薬学部他学部併願方式	変更前	変更後
併願可能学部	生物理工学部全学科	生物理工学部全学科、工学部全学科

⑨ 工学部 共通テスト利用方式（中期）科目型の追加

4教科4科目型に加え、2教科2科目型を新たに追加します。

【2教科2科目型】

科目	教科	配点	
数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ、数学A」「数学Ⅱ、数学B、数学C」	100点	合計 200点
以下から高得点1科目選択		100点	
外国語	「英語」（リスニングを含む）「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」		
国語	「国語」（近代以降の文章）		
理科	「物理」「化学」「生物」「地学」		
地理歴史	「歴史総合、世界史探究」「歴史総合、日本史探究」「地理総合、地理探究」		
公民 情報	「公共、倫理」「公共、政治・経済」 「情報Ⅰ」		

⑩ 産業理工学部 試験日・試験科目の変更

一般入試・前期（B日程）において、例年2月11日・12日に実施していた試験日を、2月13日・14日に変更します。

試験日	令和8年度入試まで	試験日	令和9年度入試から
2月11日、12日	経済、理工、総合社会、国際、農、看護、産業理工	2月11日、12日	経済、理工、総合社会、国際、農、看護、 産業理工
2月13日、14日	法、経営、建築、薬、文芸、情報、生物理工、工、短大	2月13日、14日	法、経営、建築、薬、文芸、情報、生物理工、 工、産業理工、短大

また、試験日の変更に伴い、2時限目の「数学①・数学②」の選択が、「数学」に変更となります。

教科	科目	配点	
外国語	「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」	100点	合計 300点
数学	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B（数列）・数学C（ベクトル）」	100点	
国語	「現代の国語、言語文化、論理国語、古典探究（いずれも漢文を除く）」		
理科	「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」	100点	
地歴	「世界史探究」「日本史探究」「地理探究」		

⑪ 産業理工学部 試験科目の変更

〔対象入試制度：推薦入試（一般公募）〕

産業理工学部の2時限目の「数学」が、「数学①・数学②」から選択可能となります。

教科	科目	配点	
外国語	「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ」	100点	合計 200点
数学①	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B（数列）・数学C（ベクトル）」	100点	
数学②	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ（極限、微分法）・数学A・数学B（数列）、 数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）」		
国語	「現代の国語、言語文化、論理国語、古典探究（いずれも漢文を除く）」		

⑫ 経済学部他学部併願方式を新規導入

〔対象入試制度：推薦入試（一般公募）〕

経済学部において、産業理工学部「経営ビジネス学科」を併願できる「経済学部他学部併願方式」を導入します。

経済学部他学部併願方式	
併願可能学部	産業理工学部経営ビジネス学科

⑬ 情報学部他学部併願方式に産業理工学部を新規追加

〔対象入試制度：一般入試・前期（B日程）〕

情報学部他学部併願方式の併願可能学部に産業理工学部（全学科）を追加します。

情報学部他学部併願方式	変更前	変更後
併願可能学部	生物理工学部全学科、工学部全学科	生物理工学部全学科、工学部全学科、産業理工学部全学科

⑭ 理工学部他学部併願方式に産業理工学部を新規追加

〔対象入試制度：推薦入試（一般公募）〕

理工学部において、産業理工学部全学科を併願できる「理工学部他学部併願方式」を導入します。

なお、一般入試・前期（B日程）における理工学部他学部併願方式は廃止します。

理工学部他学部併願方式	
併願可能学部	産業理工学部全学科

※一般入試・前期（B日程）における理工学部他学部併願方式は廃止

⑮ 試験地の変更

一般入試・前期（A日程）において、新たに大宮会場を追加し、これまで試験を実施していた宮崎会場は廃止します。また、一般入試・後期においては、これまで試験を実施していた豊岡会場を廃止します。

試験日	試験地
一般入試・前期（A日程）	大阪・大阪北・札幌・大宮・東京・横浜・金沢・福井・浜松・名古屋・名張・滋賀・京都・神戸・姫路・豊岡・和歌山・松江・岡山・広島・山口・徳島・高松・松山・高知・小倉・福岡・長崎・熊本・大分・宮崎一鹿児島
一般入試・後期	大阪・札幌・東京・金沢・浜松・名古屋・滋賀・京都・神戸・姫路・豊岡一和歌山・松江・岡山・広島・徳島・高松・松山・小倉・福岡・鹿児島

⑯ 入学試験時間割の変更

入学試験の時間割を下記のとおり変更します。

【変更前】

試験時限	令和8年度入試まで
1限目	11:00~12:00
2限目	13:00~14:00
3限目	14:40~15:40



【変更後】

試験時限	令和9年度入試から
1限目	11:00~12:00
2限目	13:20~14:20
3限目	15:00~16:00

⑰ TOEFL iBT®の換算基準の変更（英語外部試験利用制度）

本学が指定する各種資格試験等の得点（4技能すべて受験したものに限り）、資格を「外国語」の得点にみなして換算する英語外部試験利用制度において、TOEFL iBT®の換算基準を以下のとおり変更します。

【変更前】

みなし得点	TOEFL iBT®
100点	72
85点	55
70点	42

【変更後】

みなし得点	TOEFL iBT®	
	2026年1月20日以前の受験者	2026年1月21日以降の受験者
100点	72	4
85点	55	3.5
70点	42	3

※2024年（令和6年）11月以降に受験したものに限り。

以上